

(株)ルートレック・ネットワークスの「事業参入計画」変更の概要

(株)ルートレック・ネットワークスは、農業用機械製造事業への事業参入計画の認定を受け、農林漁業成長産業化支援機構(A-FIVE)による出資の支援措置を受けていた。(認定: 令和2年5月29日)

今般、更なる販売・保守サポート体制を強化するため、新たに大手農機メーカーの出資を受け、事業連携を強化することとした。

ネットワーク監視を主な事業とする(株)ルートレック・ネットワークスが、IoT技術を活用したパイプハウス向け養液土耕自動化システム「ゼロアグリ」を開発。

【良質かつ低廉な農業資材の供給目標】

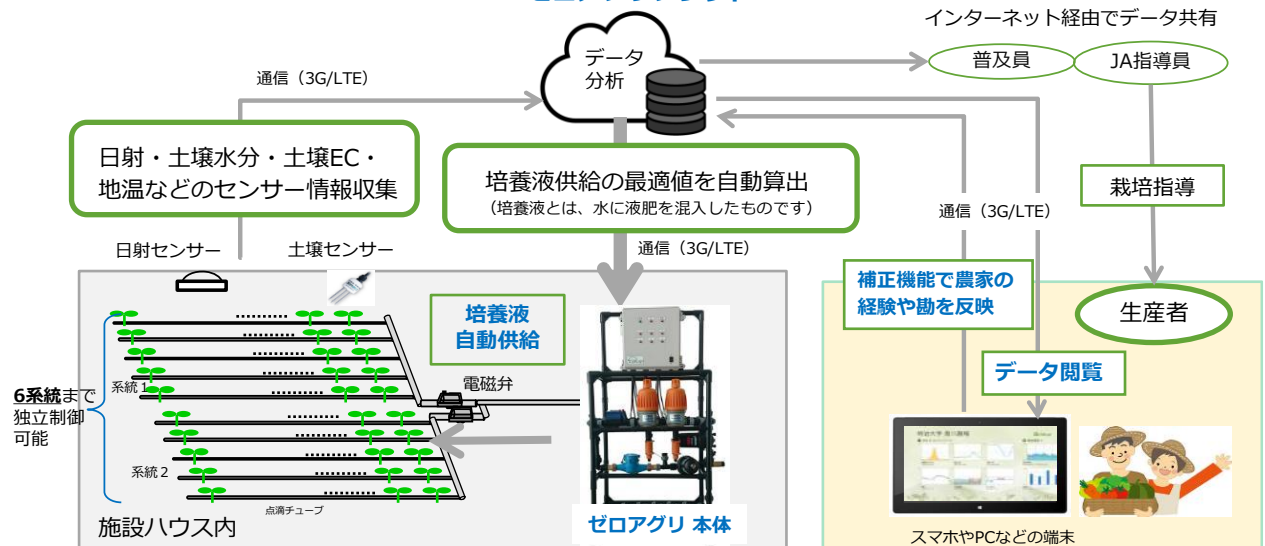
日射センサーや土壌センサーの情報を基に培養液(水+液肥)を高度に管理し、あらかじめ設定した条件となるよう自動で施用することで、労働時間を削減しつつ収量を向上し、収量当たりの生産コストを低減。

また、代理店を通じた販路を拡大するとともに、毎月の利用料のみで導入が可能な定額サービスを導入すること等により販売促進を図り、令和7年4月末までに累計導入台数1,800台を目指す。

システム概要

- あらかじめ生産者が設定した土壌水分量・土壌の養分濃度となるよう、日射センサー及び土壌センサーで測定したデータに基づき、土壌環境に応じたかん水量・培養液濃度をシステムが算出し、自動で培養液を供給。
- 生産者の設定値等はクラウドを介してデータ共有できるため、普及組織等が生産者に対して的確で迅速な栽培指導を行うことも可能。

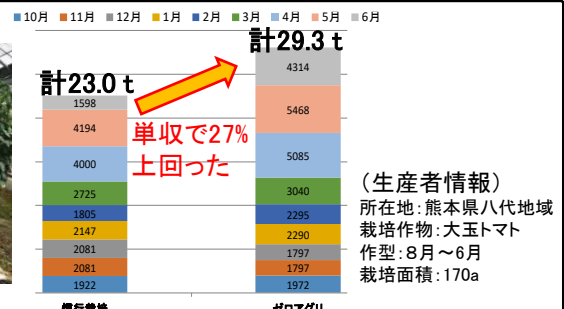
ゼロアグリクラウド



実証効果

- トマトの慣行栽培(※)を行う熟練農家の単収を、ゼロアグリを利用した若手農家が27%上回り、かん水と施肥に要する労働時間も9割削減。

(※) かん水: 手動バルブ開閉
施肥: 固形肥料の基肥施用と追肥



事業参入計画の主な内容

【対象事業】
農業用機械製造事業

【計画の実施時期】
令和2年5月～令和7年4月

様式第十九（第 13 条関係）

変更後の認定事業参入計画の内容の公表

1. 変更認定をした年月日
令和 6 年 3 月 29 日
2. 変更後の認定事業参入事業者名
変更なし
3. 変更後の認定事業参入計画の目標
 - (1) 事業参入に係る事業の目標
変更なし
 - (2) 良質かつ低廉な農業資材の供給に関する数値目標
変更なし
4. 変更後の認定事業参入計画に係る事業参入の内容
 - (1) 事業参入に係る事業の内容（良質かつ低廉な農業資材の供給の内容を含む。）
 - ① 事業参入計画の対象となる事業
変更なし
 - ② 事業参入計画の具体的内容
変更なし
 - ③ 良質かつ低廉な農業資材の供給の取組内容
変更なし
 - (2) 事業参入を行う場所の住所
【変更前】
株式会社ルートレック・ネットワークス社 本社
(神奈川県川崎市麻生区万福寺 1 丁目 1 番 1 号 新百合ヶ丘シティビルディング 6F)

【変更後】
株式会社ルートレック・ネットワークス社 本社
(神奈川県川崎市高津区久本 3-5-7 新溝ノロビル 1F)
 - (3) 関係事業者又は外国関係法人に関する事項
変更なし
5. 変更後の事業参入の開始時期及び終了時期
変更なし